

日本精神衛生学会第34回大会シンポジウム「被災者の心の支援」連携プログラム

災害時における被災者の心の支援

日本精神衛生学会・一般社団法人メンタルヘルス・ビューロー共催

2019年 3月2日、9日、16日、23日、30日 全5回
午後2:00 ~ 午後5:00

参加費 1回につき3,000円
※5回前納の場合は12,000円

会場 中央大学駿河台記念館（※会場変更の場合あり）

定員
35名

阪神淡路大震災以後、日本精神衛生学会では災害時の心の健康の初期対応チームとしてMCRTが活動しております。その目的は、①災害の現状、②専門機関や病院等、利用可能な資源の活動状況、③心のケアに必要な知識や対処法、の3つを提供することにあります。これは混乱した状況にある被災者ニーズに即した実地的な初期対応です。被災者を支援する支援者の支援も重要です。甚大な災害が相次ぐ昨今、このような緊急時に心の健康を守るための支援者が求められています。この度、様々な領域から講師を招聘いたしましたので、奮ってご参加ください。なお、MCRTメンバーも募集しておりますので、ご興味のある方はお声がけください。

< 研修内容 >

第1回 3月2日	心のケアとは何か 災害発生時にまず対応すべきこと 現地情報をどのように把握するか	高塚雄介（(社)メンタルヘルス・ビューロー代表・元日本精神衛生学会理事長）
第2回 3月9日	被災地との連携にあたって 電話相談をどのように活用するか	片岡玲子（日本電話相談学会副理事長）
第3回 3月16日	(1)被災地に暮らす人々をどう支援するか 東日本大震災の体験から (2)熊本地震の体験から	岩城秀明（福島県会津児童相談所相談判定課長） 藤原千嘉（熊本YWCA・現在都内中学校勤務）
第4回 3月23日	被災者を救助・支援する人々の心の支援 地域の公的機関職員・消防団員・ボランティア等	重村朋子（元日本医大小児科）
第5回 3月30日	支援者に対する心の支援の進め方 サイコドラマによるワークショップ	増野 肇（元ルーテル学院大学教授）

※ この企画は日本精神衛生学会第34回大会において開催されたシンポジウム「被災者の心の支援」と連携するプログラムとして実施されるものです。

※ 臨床心理士の方には、継続研修の参加証明書を発行いたします。

お申し込みはこちら

氏名、住所、所属、電話番号、資格、メールアドレスを記入し、
FAX (03-6457-3921)、メール (mentalhealth_bureau@yahoo.co.jp)
 [@mentalhealthbureau](https://www.facebook.com/mentalhealthbureau) いずれかにてお申し込みください。

主催（共催） 一般社団法人メンタルヘルス・ビューロー、日本精神衛生学会
後援 総務省・消防庁、敬心学園・職業教育研究開発センター